

16. 第7回 MSJ-SI (2014年度) 開催報告書

● 第7回日本数学会季期研究所 (The 6th MSJ-SI) “Hyperbolic geometry and geometric group theory”

● 日時：2014年7月30日から8月5日

● 場所：東京大学大学院数理科学研究科

● 委員会：

大鹿健一 (大阪大学, 代表 StC, OC, SC),
小島定吉 (東京工業大学, StC, OC, SC),
藤原耕二 (京都大学 StC, OC, SC), 河澄響矢 (東京大学, SC, OC),

Brian Bowditch (Univ. of Warwick, SC),
金英子 (大阪大学, OC), 逆井卓也 (東京大学, OC), 高沢光彦 (東京工業大学, OC)

(注：StC = Steering Committee, SC = Scientific Committee, OC = Organising Committee)

● 参加者数：195名 (内海外66名)

● 目的と内容：

双曲幾何と幾何学的群論は、昨今相互に影響し合いながら発展している。このような動きの最近の顕著な成果として、曲線複体の理論の幾何的群論への応用や、30年来の未解決問題である、virtual Haken 予想、virtual fibre 予想の cube complex と Artin 群を使った肯定的な解決があげられる。本研究集会では、これらの最近の成果を俯瞰した世界的に著名な専門家4名による、総合講演を中心として、この分野で活発に活動する研究者の講演を行った。大部分の講演は録画され、東大数理のサーバーで公開されている：

http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/web/video/conference/2014msj_si/index.html

● 基調講演者 (Survey talks)：

Yair Minsky (Yale), Narutaka Ozawa (Kyoto), Michah Sageev (Technion), Karen Vogtmann (Cornell)

● 講演者：

Mladen Bestvina (Utah), Brian Bowditch (Warwick), Martin Bridson (Oxford), Jeffrey Brock (Brown), Kenneth Bromberg (Utah), Danny Calegari (Chicago), Daniel Groves (UIC), Yoshikata Kida

(Kyoto), Sang-hyun Kim (Seoul), Athanase Papadopoulos (Strasbourg), Piotr Przytycki (Warsaw)

● Web page:

<http://www.is.titech.ac.jp/msjsi2014/>

● Proceedings: ASPM より出版予定.

日本数学会の貴重な経済的、事務的サポートに深く感謝いたします。

(大鹿健一 記)